

令和2年第7回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和2年7月27日(月)
午後1時30分から午後2時32分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子
委 員 後 藤 邦 江

欠席者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	金 子 等	次長兼教育総務課長	内 藤 光 重
社会教育課長	奥 富 悟	スポーツ振興課長	奥 富 喜 和
学校教育部長	伊 藤 秀 一	次長兼教育指導課長	田 中 義 久
書 記	洪 谷 浩		

会議の公開・非公開 公 開

傍聴者数 3名

報告事項

- ・各種審議会等の会議結果概要について

報告者(社会教育課長)

(スポーツ振興課長)

(要旨)

令和2年度第1回狭山市社会教育委員会議、令和2年度第1回狭山市スポーツ推進審議会を開催結果について、その概要の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、社会教育施設の利用再開に当たり、予約を振り替えたことによる混乱はなかったかとの質疑に、富士見集会所や公民館では、予約振替について、台帳による管理を行い、振替先のない場合は還付の手続きをとり、利用者に不利益のないよう対応した旨の答弁がなされた。

令和2年度の社会体育関連事業について、実施できない状況にあるが、その点について委員からの意見等はその質疑に、委員からの意見等はなかったが、学校体育施設開放事業再開に向けての質疑があり、利用再開の条件として、ス

ポーツ振興課で作成したガイドラインについて説明したのち、それらの項目を遵守できる団体から順次利用できることを説明した旨の答弁がなされた。委員からは、学校体育施設開放に当たっては、利用団体がガイドラインに沿って感染防止対策をとっているかどうかきちんとチェックしてほしい旨の要望がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

社会教育課関係 1 件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

- ・その他

報告者（生涯学習部次長）
（学校教育部次長）

（要旨）

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた教育委員会の主な取り組みとして、生涯学習部より、前回教育委員会会議の開催日以降の社会教育施設の再開状況について、学校教育部より、中学校の部活動の状況等について、それぞれ説明がなされた。

教育委員からの質疑等では、教育委員より、本来夏休みである期間に授業を行うに当たり、特に、小学校では、児童の登下校時の安全確保をお願いしたい。また、中学校では、前回報告で不登校の生徒が学校に戻ってきたとのことであったが、元に戻る状況もあると聞いている。子供たちに寄り添った教育をお願いしたいとの要望に、児童の安全確保については、登下校時以外に日常生活時にも気を付けるよう、学校を通して保護者にも注意を促し、児童生徒が安全に過ごせるよう働きかけたい。不登校については、一人ひとりの状況を見ながら寄り添い、学校だけがすべてではないが、学校に復帰できるよう働きかけるとともに、友達ともコミュニケーションがとれるよう、学校や教育センターとの相談を通して働きかけていきたい旨の考えている旨の答弁がなされた。

議 案

議案第 29 号 令和 3 年度使用中学校教科用図書採択について

令和 3 年度から中学校で使用する教科用図書について、第 13 採択地区教科用図書採択協議会の選定結果に基づき、採択したく、提案がなされたものである。

まず、説明として、教科用図書採択の方法は、「義務教育諸学校の教科用図書の

無償措置に関する法律」第10条から第17条によって定められており、共同採択地区内の教育委員会は、採択協議会の協議の結果に基づいて、種目ごとに1種の教科用図書を採択しなければならないことになっている。

本市は、飯能市、入間市、日高市と第13採択地区の採択協議会を設置し、採択を行うこととされていることから、採択協議会での協議結果に基づき、採択しようとするものである。

なお、これに関して教育委員には、普段より学校指導訪問等で学校現場がどのように教科用図書を活用しているか等を確認していただいているところであり、また、今回の採択に際しては、県教育委員会から出されている「令和3年度使用中学校用教科用図書調査資料」及び、第13採択地区教科用図書採択協議会専門員が作成した「令和3年度使用中学校用教科用図書調査研究報告」とともに、事前に見本本をご覧になっていただいたところである。

令和2年7月15日、7月17日に第13採択地区の採択協議会が開催され、これには4市の教育長及び教育長職務代理者が出席し、協議を行ったところであり、その協議結果に基づき、本市教育委員会として、令和3年度から使用する中学校の教科用図書について、別紙のとおり、採択したく提案するものである旨の説明がなされた。

なお、7月15日、7月17日に行われた採択協議会での協議内容と結果については、教育長より、次のように報告がなされた。

今回の教科用図書の採択にあたっては、各教育委員の皆様にご覧いただくとともに、担当指導主事より発行者ごとの主な特徴等について説明を受け、意見交換を行い、それを踏まえて第13採択地区教科用図書採択協議会へ臨んだものである。

採択協議会では、教科ごとに、教科用図書の調査研究を行うために委嘱された第13採択地区の代表専門員から調査研究の結果の報告を受け、それについて質疑を行い、協議会規約で規定されている方法により、採択すべき教科用図書を選定することとした。

国語については、4者の教科用図書について、代表専門員から、国語科における「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性等」を育成するための教科用図書の工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、時代を超えて親しまれてきた教材や情報の扱い方に関する教材が配置され、また、基礎的・基本的な内容が着実に身に付けられるように構成されている光村図書の「国語」が選ばれた。

書写については、4者の教科用図書について、代表専門員から、書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、学習目標と学習内容、振り返り、そして、他教科の学習や日常生活に生かす日常化

まで「どのように学ぶか」という学習手順を明確に示し、生徒が主体的に学べる構成になっている、教育出版の「中学書写」が選ばれた。

社会（地理的分野）については、4者の教科用図書について、代表専門員から、学習課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、単元全体を貫く「探究課題」の設定により課題をつかみ、1単位時間ごとの「学習課題」を解決していくことで探究課題の追究をする構成になっている、東京書籍の「新しい社会 地理」が選ばれた。

社会（歴史的分野）については、7者の教科用図書について、代表専門員から、学習課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、1単位時間の授業が、「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック&トライ」の流れで構成され、「スキルアップ」によって技能の定着、「読み取る」「まとめる」で技能の活用ができる、東京書籍の「新しい社会 歴史」が選ばれた。

社会（公民的分野）については、6者の教科用図書について、代表専門員から、学習課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、章の最初に「探究課題」を示し、「まとめの活動」において学習内容の整理・解決により、「何を学んだのか」を捉えられるようにしたり、「トライ」というコーナーで、学習課題を自分の言葉で説明するように促し、思考力・判断力・表現力の育成を図ったりしている、東京書籍の「新しい社会 公民」が選ばれた。

社会（地図）については、2者の教科用図書について、代表専門員から、社会科の授業において、学習課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、地域の結びつきをより重視した図取り、資料図も大きめで見やすく構成されており、SDGsの観点に基づいた資料や日本の防災に関する資料も多く掲載され、今後の日本や世界を担う人材育成の観点も伺うことができる、帝国書院の「中学校社会科地図」が選ばれた。

数学については、7者の教科用図書について、代表専門員から、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、思考力・判断力・表現力について、「説明しよう」「話し合おう」で言葉や数・図などを適切に使って表現したり、まとめたりする活動を通して育成できる啓林館の「未来へひろがる数学」が選ばれた。

理科については、5者の教科用図書について、代表専門員から、科学的に探究す

る学習活動の充実が図られるための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、巻頭で、探究の流れや教科書の使い方などを示し、生徒にとって理科の学習の進め方がわかるようになっており、単元の指導時期や内容の関連性を踏まえた単元配列となっている東京書籍の「新しい科学」が選ばれた。

音楽（一般）については、2者の教科用図書について、代表専門員から、音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、生徒が主体的に学習に取り組む学習目標や具体的な学習活動、音楽を形づくっている要素が示されており、表現活動、創作活動、鑑賞活動に連続性がある教育芸術社の「中学生の音楽」が選ばれた。

音楽（器楽合奏）については、2者の教科用図書について、代表専門員からは、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、各楽器の構造や各部の名称が写真やイラストで示され、構え方も複数の角度から写真で示されており、また、生徒に身近な音楽を取り上げ、音楽が社会の中でどのような意味や価値をもつのかを意識的に考えられるようにしている教育芸術社の「中学生の器楽」が選ばれた。

美術については、3者の教科用図書について、代表専門員から、美術科における、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、「知識」「思考」「学び」の3つの柱で目標を示し、説明文からの問いかけや作者の言葉、写真やコメント、QRコードからの動画などのヒントを示すことで、主体的・対話的な学習等に生かすことができる開隆堂の「美術」が選ばれた。

保健体育については、4者の教科用図書について、代表専門員から、保健体育科における、知識・技能が習得できるようにするための工夫や、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、1単位時間ごとの見開き構成で、キーワードが示され、学習のポイントがわかりやすくなっており、学習の具体的な場面を映像と音声で学べる動画教材や、生徒自身がパソコン画面を操作することができるシミュレーション教材等が充実している東京書籍の「新しい保健体育」が選ばれた。

技術・家庭（技術分野）については、3者の教科用図書について、代表専門員から、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫等の観点

から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、「知識・技能」、「問題解決力」、「活用し工夫する」といった生徒自身が主体的に判断・行動できるように示されており、学習目標や情報量が適切であり、現代社会の課題についても関連付けて取り上げている開隆堂の「技術・家庭 技術分野」が選ばれた。

技術・家庭（家庭分野）についても、3者の教科用図書について、代表専門員から、家族や家庭、衣食住、消費や環境などに関する内容における、実践的・体験的な活動の工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、教科用図書全体で学習過程を共通して示し、「振り返り」において、まとめや学習状況を自己評価し、学んだことを定着できる構成になっており、また、資料や写真が多く、生徒の実態、興味・関心に応じて、実践できるように工夫されている開隆堂の「技術・家庭 家庭分野」が選ばれた。

外国語（英語）については、6者の教科用図書について、代表専門員から、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、日常場面や社会的な場面まで、自分の言葉として英語を使う力を育てられるよう、ペアワーク、グループワーク、個人で作成した内容を発表するといった活動が用意されている開隆堂の「SUNSHINE ENGLISH COURSE」が選ばれた。

特別の教科 道徳については、7者の教科用図書について、代表専門員から、道徳的な現代的課題を一人一人の生徒が自分自身の問題として捉え、向き合い、「考え、議論する道徳」の授業を展開できるための工夫等の観点から調査研究の結果報告があった。その後、この報告について質疑を行い、そして、委員による協議に移り、選定に関する意見がなかったことから、投票により選定することとし、投票の結果、「生命の尊さ」、「いじめ問題」を3つの教材を通して多面的・多角的に考えられるようにしており、また、考え議論する話合いの時間確保のため、短時間で読める教材を掲載したり、話合いの手引き、補助教具も用意したりしている、東京書籍の「新訂 新しい道徳」が選ばれた旨の報告がなされた。

教育長からの報告を踏まえて、教育委員からの質疑等では、全種目、投票により選定されたとのことだが、具体的な投票結果はどの質疑に、国語は、光村図書に8票、書写は、教育出版に8票、社会（地理的分野）は、東京書籍に8票、社会（歴史的分野）は、東京書籍に8票、社会（公民的分野）は、東京書籍に8票、社会（地図）は、帝国書院に8票、数学は、啓林館に8票、理科は、東京書籍に8票、音楽（一般）は、教育芸術社に8票、音楽（器楽合奏）は、教育出版に2票、教育芸術社に6票、美術は、開隆堂に8票、保健体育は、東京書籍に8票、技術・家庭（技術分野）は、開隆堂に8票、技術・家庭（家庭分野）は、開隆堂に8票、外国語（英

語)は、開隆堂に8票、特別の教科道徳は、東京書籍に8票であった旨の答弁がなされた。採択協議会では、どのような質問が出されたのかとの質疑に、様々な質問が出されていたが、例えば、小中学校の連携についての質問や、小中学校で教科書会社が異なることで何か混乱はあるのか、教科書のサイズやページ数の違いによる特徴はあるのか、GIGAスクール構想について、何か工夫をしているのか、新型コロナウイルス感染症について触れているかといった質問があった旨の答弁がなされた。小中学校で教科書会社が異なることについて審議はされたのかとの質疑に、小中学校の系統性についての質問が出たが、代表専門員からは、その点も念頭に研究したが、中学校用教科書の巻頭に、小学校の学習内容をまとめているなど、どの発行者も小学校から中学校へのスムーズな接続を意識して教科書がつけられているという報告があった旨の答弁がなされた。小中学校で教科書会社が異なっても混乱はないとの認識でよいのかとの質疑に、専門員の研究によると、教科書会社が異なっても混乱や問題はないということであった旨の答弁がなされた。教えやすいとか、子供たちが学んでいて楽しく分かりやすい授業を目指し研究している先生方の意見はどのように把握しているのかとの質疑に、各中学校の教員は、教科書展示会等に参加し教科書の研究を行っており、その研究結果は、採択協議会事務局で集計され、採択協議会でも参考資料として結果が提示されているため、教員の声を把握した上での採択となったものと考えている旨の答弁がなされた。保護者や地域住民等の意見はどのように把握しているのかとの質疑に、教科書展示会の会場については、各学校の学校だよりやホームページで紹介しており、そこに来られた方の意見等はその場で聴取し、その結果を採択協議会の参考資料として提示された。保護者や地域住民等の声は、そのような形で把握している旨の答弁がなされた。ユニバーサルデザインについて、どのような配慮がされているのかとの質疑に、教科書におけるユニバーサルデザインとは、「どの生徒にも見やすく使いやすいようにつくられているのか」ということであり、紛らわしい文字を判別しやすくするUDフォントと言われる字体を使用したり、配色やレイアウト等に配慮したりするなど、どの教科書も、見やすく読みやすく作られているとの報告があった旨の答弁がなされた。中学校教科用図書の指導書には、デジタルコンテンツを含むものがあるが、購入の予定はあるのかとの質疑に、今年度採択する中学校教科用図書については、令和3年度からの使用となることから、指導書については、来年度予算での購入を考えている旨の答弁がなされた。近年は、ただ先生の言うことを聞いているだけでなく、主体的・対話的で深い学びへと授業内容が変わっていると思うが、どのように配慮されているのかとの質疑に、各者とも、主体的・対話的で深い学びができるような学習過程を設定しており、問題解決的な学習のステップを分かりやすく示したり、生徒同士で話し合う場面を意識的に取り入れているとの報告があった旨の答弁がなされた。

議案第29号については、原案可決した。

以 上